

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名 称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 森林課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 83 人 (前年度 55 人) バンガロー 934 人 (前年度 1,084 人) 溪流茶屋 1,928 人 (前年度 2,233 人) 公 園 9,900 人 (前年度 10,385 人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 7,125 千円 (前年度 7,771 千円) 施設利用料金収入 3,509 千円 指定管理料 3,549 千円 その他の収入 67 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 7,090 千円 (前年度 7,652 千円) 主な支出 施設使用料 84 千円 人件費 2,292 千円 光熱水費 1,001 千円 修繕・消耗品費等 1,792 千円 委託料 1,373 千円 負担金・公租公課 223 千円 その他 325 千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	平成23年度より来場者に記入していただけるよう、アンケート記入コーナーを設けている。
(2) 指定管理者の自己評価	平成18年度のオープン以来、最低の売り上げとなった。今年度は8月の台風が原因のキャンセル等もあり、バンガローの利用者が前年比20%強の減となった。子連れの家族の姿があまり見えないので、子どもたちの楽しめる施設の取組が必要と思う。 また、バンガロー棟の家電製品、寝具等の不具合もあり修理も増えている。特に寝具・クッキングヒーターの交換、暖房器具の補充を求められている。 今年度は白髪滝の倒木、大滝の崩土もあり収入が減ることで災害の復旧、園地の除草・清掃が十分にできなかった。 今後も利用者への丁寧な対応と、園内の除草・清掃等施設の維持管理に努めていく。
(3) 市の評価	8月～10月の利用者減少は、台風が接近した影響も受けていると思われる。 子連れ家族の来場が減っている件について、最近は各地でイベント開催も活発であり、施設のPR不足も理由の1つであると思われる。特に最近ではインターネットによる情報収集が主流になりつつあるため、そういった点で後れを取っているのではないかと考えられる。パンフレットの活用やイベントの開催等、新規利用客の増加に繋がるような施策を考えていく必要がある。 施設、備品の修繕や園内の整備についても協議しつつ、利用者に不便をかけることのないよう努めていきたい。